令和５年度岩手県栄養士会事業報告
（令和５年４月１日～令和６年３月31日）

Ⅰ　基本方針

1「健康いわて 21 プラン（第２次）」の理念に基づき、健康寿命の延伸をめざした生活習慣病予防等のための、適正な栄養・食生活の実現に向け、専門職能組織として積極的な推進を図る。

2 超高齢社会を迎えた中で、低栄養の改善、疾病の重症化予防のため、病院から施設、在宅に移行後も一連で適切な栄養管理が継続できるよう、嚥下調整食の標準化を図り、多職種間での栄養情報共有とともに、在宅ケアの推進を通じ、県民総参加による地域包括ケアシステムを推進する。

3 自然災害等における栄養・食生活支援の重要性を認識し、高齢者、障がい者、食物アレルギー疾患等を含む要配慮者に安全確実な食料支援を実施するため、岩手県との支援協定に基づき「特殊栄養食品ステーション」を開設し、会員が一体となった被災者支援活動体制を整備するとともに、自治体及び施設給食に対し、健康危機管理関係情報を提供する。

4 管理栄養士・栄養士の専門知識の向上、マネジメント能力開発のため、職域及び全体研修、生涯教育等を充実させ、公衆衛生の向上に寄与する人材を育成する。

Ⅱ　事業

公１　県民の健康の増進、疾病予防及び栄養改善に関する講演、相談等の情報提供事業

＜事業実施の目的＞

地域健康課題解決にむけて科学的根拠に基づいた健康・栄養情報の提供や栄養指導を実施し、県民の健康づくり及び生活習慣病予防の促進を図る。

公１－（1）講演会・公開講座事業【県民を対象とした健康と食生活に関する研修会】

公開講座「健康づくり提唱のつどい　元気で長生き！慢性腎臓病予防セミナー」

８月５日（土）盛岡市　エスポワールいわて　参加者 103 名
共催/ 岩手県　岩手県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会　一般社団法人岩手県腎臓病の会
協賛/ 株式会社ヤクルト本社　岩手ヤクルト販売株式会社
後援/ 一般社団法人岩手県医師会　NPO 法人日本腎臓病協会　岩手日報社　盛岡タイムス社
IBC 岩手放送　テレビ岩手　めんこいテレビ　岩手朝日テレビ

講演Ⅰ「カラダの健康とプロバイオティクス」
株式会社ヤクルト本社 広報室 参事 小笠原　伸浩　氏
腸内フローラのバランスと健康の関わり、免疫機能・ストレスへの影響について

講演Ⅱ「慢性腎臓病（CKD）の予防と栄養：正しく理解するために」
岩手県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会　会長
岩手医科大学 医学部 内科学講座 腎・高血圧内科分野 教授　旭　浩一 先生
腎臓の構造と働き、慢性腎臓病の原因、症状、食事療法について

体験発表「私が実践した自己管理のポイント」
一般社団法人岩手県腎臓病の会 齋藤　江理子 氏
透析治療における、食事を中心とした自己管理のポイントについて

講演Ⅲ「なるほど！慢性腎臓病の食事のポイント」
岩手県医療局業務支援課栄養指導監兼岩手県立中央病院栄養管理科 科長 伊藤　美穂子 氏
慢性腎臓病のステージに応じた食事療法と減塩のポイントについて

栄養ワンダー（いわて栄養の日キャンペーン）

公1－（2）栄養相談・食生活診断事業 【県民を対象とした健康と食生活に関する相談・食生活診断】

ア 地区活動における「いわて栄養月間」の取組み等

県内各地のイベントに併合し、栄養相談、食物アレルギーに関する相談、塩分チェック及び減塩指導、栄養クイズ等を通じて、県民の皆様に食事の大切さ、健康づくりを啓発普及

地区	イベント名	期日	内容等		
盛岡	しずくいし産業まつり	10 月 21･22 日（土･日）	参加者 190 人	栄養相談 10 人	従事者 5 名
	盛岡市農業まつり	10 月 29 日（日）	減塩クイズ限定 20 人 来場者多数		従事者 6 名
県南	花巻市健康まつり	10 月 22 日（日）	参加者 120 人	栄養相談 120 人	従事者 3 名
	一関市産業まつり	10 月 28 日（土）	参加者 100 人	栄養相談 100 人	従事者 7 名
沿岸	大船渡市「栄養の日」	9 月 20 日（水）	参加者 70 人	栄養相談 45 人	従事者 4 名
	宮古市「栄養の日」	11 月 18 日（土）	参加者 145 人	栄養相談 25 人	従事者 11 名
	釜石市健康づくりの集い	11 月 23 日（木･祝）	参加者 70 人	栄養相談 40 人	従事者 3 名
県北	減塩フェスタ in 久慈	8 月 20 日（日）	参加者 50 人	栄養相談 24 人	従事者 3 名
	食フェスタ in 軽米	10 月 15 日（日）	参加者 50 人	栄養相談 25 人	従事者 4 名
	二戸健康フェスティバル	10 月 29 日（日）	参加者 150 人	栄養相談 98 人	従事者 13 名
	九戸村健康福祉大会	11 月 19 日（日）	参加者 30 人	栄養相談 26 人	従事者 5 名
県内 11 市町村、参加者 995人、栄養相談 513人、従事者 64名					

イ 健康的な食事サポート環境整備事業

（株）ベルジョイスと協働し健康適塩弁当・惣菜の品目及び栄養成分値等の調整、減塩に配慮した「健康的な食事」の実践できる食環境の整備を推進した。

① 「いわて減塩・適塩の日」キャンペーンイベント

岩手県が設定している毎月 28 日「いわて減塩・適塩の日」に併せて、保健所、市町等と協働で実施

期日	場所	内容	参加者数
9 月 28 日（木）	奥州市 ジョイス龍ヶ馬場店	健康適塩弁当 PR、減塩クイズ、栄養相談	減塩クイズ 100 人 栄養相談 100 人
9 月 28 日（木）	平泉町 ジョイス平泉店	健康適塩弁当 PR、野菜 350g計量体験、減塩クイズ、栄養相談	野菜計量体験 100 人 栄養相談 100 人
10 月 28 日（土）	釜石市 ジョイス釜石店	ベジメーターによる野菜摂取量測定、健康適塩弁当 PR、栄養相談	野菜摂取量測定 75 人 栄養相談 45 人
11 月 28 日（火）	二戸市 ジョイス二戸店	減塩・適塩 PR、栄養相談	30 人 栄養相談 25 人
4 会場 参加者 305人、栄養相談 270人			

② リニューアル惣菜モニター調査

減塩リニューアルをした惣菜を試食提供し、減塩効果の分析・評価等を行った。

地域	期日	場所	調査数	地域	期日	場所	調査数
盛岡	1 月 31 日（水）	津志田老人福祉センター	24	県南	3 月 4 日（月）	平泉町保健センター	32
	2 月8日（木）	アイーナ	21		3 月 8 日（金）	平泉町保健センター	28
	2 月 15 日（木）	津志田老人福祉センター	27	沿岸	3 月 9 日（土）	宮古市津軽石公民館	36
	2 月 22 日（木）	みたけ老人福祉センター	29		3 月 12 日（火）	釜石市青葉ビル	27
	2 月 29 日（木）	栄養士会事務所	6	県北	2 月 5 日（月）	金田一保育所	25
	3 月 14 日（木）	みたけ老人福祉センター	30		2 月 9 日（金）	篠倉・本新田公民館	7
県南	2 月 3 日（土）	水沢地区センター	25		2 月 19 日（月）	堀野いきいきセンター	15
	2 月 28 日（水）	一関保健所	15		2 月 22 日（木）	二戸保健所	41
計 16 回 388 人							

ウ 透析治療栄養管理情報提供

岩手県腎臓の会会報に透析食メニューを提供 提供者 三愛病院

公1－（3）調理実習・栄養教室事業 【県民を対象とした健康と食生活に関する調理実習】

ア 岩手県食育普及啓発キャラバン「栄養講話・食育紙芝居の読み聞かせ」
岩手県食育推進ネットワークが企画するキャラバンと協働
・ 栄養講話 7月20日（木） 北上市子育て支援センター 未就園児の親子等25名 従事者1名
・ 食育紙芝居の読み聞かせ 8月4日（金） 金ケ崎保育園 園児25名 従事者2名

イ いわて子どもの森食育学習への派遣 親子調理実習
「食を楽しむクッキング」 11月19日（日） 親子等16名 従事者1名

公1－（4）情報提供・普及啓発事業 【県民を対象とした健康と食生活に関する情報・普及啓発】

ア ホームページによる情報提供
活動内容の紹介や健康と食生活に関する情報、研修会情報・動画等を随時更新

イ 栄養食生活情報紙『栄養いわて第10号（通号47号）』2月発行A4判両面8ページ カラー印刷
食形態分類標準化推進事業、岩手栄養改善学会、慢性腎臓病予防セミナー、こども健康教育研修会、栄養の日活動報告、活躍する管理栄養士・栄養士等を掲載、市町村、保健所、関係団体等に配布

ウ 非常時における管理栄養士・栄養士の活動記録集「そのとき被災地は-栄養士が支えた命の食-」
東日本大震災発生直後の活動をまとめた活動記録集を県民等へ情報提供、頒布

公2 管理栄養士・栄養士の資質の向上に関する研修事業

＜事業実施の目的＞

管理栄養士・栄養士は、科学の進歩と社会の変化に的確に対応するために、常にスキルの向上を図り専門職としての能力の習熟が求められることから、高度な知識と技術及びPDCAに基づく栄養管理能力を有するスペシャリストの育成を目指し、県民の栄養改善に寄与することを目的とする。

公2－（1）研修会事業 【管理栄養士・栄養士等を対象に専門技術を高める研修会】

ア 栄養士研修会 （専門知識・専門技術に関する研修会）

（ア）岩手県栄養士研修会 5月28日（日） 盛岡市 アイーナ・Zoom 参加者39名
講演 「きのこで毎日を健康に！ きのこで菌活！」・きのこのもぎ取り体験
ホクト株式会社 宮城営業課 課長 寺﨑 智 氏 管理栄養士 有賀 日南子 氏
きのこ類に含まれる栄養素と生体内における作用等について

（イ） 医療・介護・家庭における栄養連携パス事業（岩手県食形態分類標準化推進事業）
助成：公益財団法人いきいき岩手支援財団
県内関係施設の嚥下調整食の均一化、医療から福祉、地域への栄養管理情報の発進と連携、在宅要介護者が安全に食べるためのサポートを推進した。

① 「嚥下調整食～岩手県ガイドライン～」の徹底
『嚥下調整食マネジメント～岩手県ガイドライン～』（令和2年作成）及び『嚥下調整食 調理力アップ～岩手県ガイドライン～』（令和3年作成）を県内病院、高齢者施設において良質・均質な嚥下調整食が提供できるようフォローアップ学習会を県内各地で開催
フォローアップ学習会：9月～3月 県内13カ所 567名（会場参加・オンライン受講）

② 嚥下調整食　指導マスターの育成

上記の実施に向け、高齢者等の摂食嚥下機能に応じた嚥下調整食の専門知識を有する指導者を育成した。育成後は、未実施な施設等を訪問またはオンライン指導により、施設の実情、能力に応じた嚥下調整食の実際について指導を行った。また、指導にあたり、専門委員による指導教本を作成した。

指導マスター８名、訪問・オンライン指導 19 件

③「岩手県医療介護関係施設　食形態標準化実態調査」の実施

県内標準化の現況を把握し、本事業評価及び課題を明確にした。

期日　令和６年１月　　回答　令和６年２月

対象　県内の医療施設、介護施設等　全 367 施設の管理栄養士（経営主体）

回答　314 施設（85.6％）

④ 岩手県食形態分類標準化推進委員会

№1　10 月４日（水）　Web 会議（Zoom）　委員 13 名

№2　３月 27 日（水）　Web 会議（Zoom）　委員 14 名

⑤ 岩手県食形態分類標準化推進委員会専門部会

№1：６月２日（金）、№2:6 月 30 日（金）、№3:1 月 20 日（土）、№4:2 月 16 日（金）他メール等で協議

場所　岩手県栄養士会事務所及び Zoom による開催　専門委員６名等

（ウ）こども健康教育研修会 「福祉児童・学校健康教育・公衆衛生職域会研修会」

９月 19 日（火）　盛岡市　アイーナ・Zoom　参加者 174 名

本県の保健課題である「小児学童期の肥満予防」に焦点を当て、各成長段階の現状と予防対策の方向性について共有し、めざす一体的な方向性を検討した。

事例発表

・ 本県の幼児期の肥満の実態について

岩手県栄養士会副会長・岩手県奥州保健所上席栄養士　金谷　明美

・ 幼児期の肥満予防の取り組み実践事例

岩手県栄養士会福祉（児童）理事・滝沢市保育協会南巣子保育園　副主任栄養士　藤原　美雪

・ 本県の小中学生の肥満の実態について

岩手県教育委員会事務局　保健体育課　指導主事　菅原　史子　氏

・ 学童生徒肥満の改善に向けた取り組み実践事例

盛岡市立仙北小学校　栄養教諭　宮城　真名実　氏

座長　岩手県栄養士会学校健康教育理事・紫波町学校給食センター栄養教諭　飛塚　美智子

基調講演「小児期における肥満対策のすすめ～個々の食事情を踏まえた栄養アセスメント～」

森川小児科アレルギー科クリニック　管理栄養士　武田　美由紀　氏

座長　岩手県栄養士会　会長　澤口 眞規子

イ　生涯教育研修会（幅広い知識と最新情報を学ぶことにより、専門的で効果的な栄養指導技術を身につけるための講演・演習による自己研修制度）

期日	時間	内容	受講者数(名)
7/2 （日）	午前	気になる子ども食事動作指導 神奈川県立保健福祉大学　リハビリテーション学科　学科長 教授　笹田 哲先生 座長　盛岡大学 栄養科学部　岩手県栄養士会 研修部長　森　真貴子	58
	午後①★	対象者の食べる機能と嚥下調整食の対応 愛知学院大学 健康科学部　健康科学科　准教授　牧野 日和先生 座長　合同会社 ZEN PROJECT　岩手県栄養士会　理事　千葉　忍	89〔8〕
	午後②		88
7/29 （土）	午前★	生活習慣病予防における栄養指導と栄養カウンセリング 名古屋経済大学 人間生活科学部　管理栄養学科　准教授　早川 麻理子先生 座長　岩手県医療局栄養指導監兼県立中央病院 栄養管理科長　伊藤 美穂子氏	89〔2〕
	午後①		91
	午後②		91
8/26 （土）	午前★	発達障害への理解とコミュニケーション方法 岩手県立大学　社会福祉学部　人間福祉学科　教授　佐藤 匡仁先生 座長　盛岡大学　栄養科学部　岩手県栄養士会　研修部長　森　真貴子	54〔5〕
	午後①	リハビリテーション栄養の考え方と栄養管理方法 熊本リハビリテーション病院　栄養管理科　科長　嶋津　さゆり先生 座長　岩手県医療局栄養指導監兼県立中央病院 栄養管理科長　伊藤 美穂子氏	83
	午後②	薬と食品の相互作用～薬を服用中の患者さんに食品で注意が必要なこと～ 岩手医科大学 薬学部 臨床薬学講座 教授 高橋　寛先生 座長　岩手県医療局栄養指導監兼県立中央病院 栄養管理科長　伊藤 美穂子氏	86
9/23 （土）	午前	美味しく、楽しく、安全に　食を支える管理栄養士の役割 認定栄養ケア・ステーションぱくぱく 運営責任者　潮田 直子先生 座長　岩手県医療局栄養指導監兼県立中央病院 栄養管理科長　伊藤 美穂子氏	82
	午後①★	糖尿病の基礎知識と最新情報 ～食事・運動・薬物療法、そして外科治療について～ 東邦大学医療センター佐倉病院　栄養部　上席室長　鮫田 真理子先生 座長　岩手医科大学附属病院　主任管理栄養士　俵　万里子氏	114〔10〕
	午後②		107
10/29 （日）	午前★	日本の明日を担う子どもたちの健康と管理栄養士・栄養士の課題 神奈川県立保健福祉大学大学院　保健福祉学研究科長・教授 日本栄養士会 副会長 鈴木 志保子先生 座長　盛岡大学 栄養科学部　岩手県栄養士会 研修部長　森　真貴子	70〔6〕
	午後①		67
	午後②	チーム医療を推進し輝け栄養管理室 町立西和賀さわうち病院 総括院長　北村 道彦先生 座長　岩手県栄養士会　会長　澤口　眞規子	50
		計　5日間	延べ　1,219名

会場　盛岡市　アイーナ・Zoom
★印　実務経験3年未満会員のボトムアップのための受講料無料科目〔　〕は受講者数

公２－（2）岩手栄養改善学会事業【管理栄養士・栄養士等を対象とした栄養改善・研究発表に関する学会】

12月9日（土）盛岡市　アイーナ・Zoom　参加者88名
一般演題　6題（医療1題、研究教育1題、公衆衛生2題、地域活動1題、福祉1題）
査読・講評　国立大学法人上越教育大学大学院 学校教育研究科 教授 野口 孝則 先生

特別講演「地域医療と医師の役割、多職種との連携へ」
一般社団法人岩手県医師会 会長 本間 博 先生
座長　岩手県栄養士会 会長　澤口　眞規子
岩手県における医療課題や在宅医療体制の現状について

シンポジウム「医療の最前線で活動する管理栄養士から報告」

助言　岩手県医師会　会長 本間 博 先生

座長　岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子

発表

・急性期医療における栄養管理対応について

岩手県医療局 栄養指導監 兼 岩手県立中央病院 栄養管理科 科長　伊藤 美穂子 氏

・回復・維持期、リハビリ・自立のための栄養強化について

岩手県栄養士会 医療理事・東八幡平病院栄養部長　古川 順勝

・岩手県食形態分類標準化推進事業の展開と在宅医療について

岩手県栄養士会 食形態推進事業担当理事・合同会社 ZEN PROJECT 千葉 忍

公３ いわて栄養ケアステーション運営事業

＜事業実施の目的＞

県民の生活習慣病及び要介護者の増加に伴い、医療費や介護費の負担が増している中、疾病の一次予防及び重症化予防、高齢者の介護予防・低栄養状態の改善、ひいては生活の質（QOL）の向上等、県民の食環境の整備を推進する拠点としての位置づけ、顔の見える（地域密着型）、管理栄養士又は栄養士の事業を行うことを目的とする。

公３－(1) 講師派遣事業

市町村等が実施する県民を対象とした食生活と健康に関する相談・講話に対して講師を派遣

ア　介護予防教室、健康栄養事業

・盛岡市立津志田老人福祉センター「栄養教室」　講話 14 回　参加者 275 名

・盛岡市立みたけ老人福祉センター「栄養講座」　講話 10 回　参加者 157 名

・矢巾町一体的実施事業「介護予防講座」　講話 10 回　参加者 132 名

イ　各種栄養相談・研修への派遣

・警察共済組合食生活改善セミナー　17 ヶ所　参加者 291 名

・ふれあいランド岩手　ふれあいクッキング　8 回　参加者 99 名

・市町村、団体等からの講師依頼　11 回　参加者 907 名

・澤口会長　講演

いわて摂食嚥下リハビリテーション研究会 第 33 回研修会

5 月 21 日（日）　アイーナ　参加者 250 名

一関市食生活改善推進員協議会研修会　5 月 22 日（月）　一関保健センター　参加者　80 名

一関市医療と介護の連携連絡会「はじめてのケアカフェ」

10 月 15 日（日）一関保健センター　参加者　20 名

一関保健所「特定給食施設従事者研修会」

10 月 18 日（水）平泉町学習交流施設エピカ 参加者　30 名

花巻市「第 2 回在宅生活を支える多職種が集う会」

11 月 2 日（木）なはんプラザ COMZ ホール　参加者 66 名

葛巻町食生活改善推進員協議会設立 40 周年記念講演

12 月 19 日（火）ふれあい宿舎グリーンテージ　参加者 73 名

二戸保健所管内管理栄養士・栄養士交流会　2 月 22 日（木）二戸地区合同庁舎　参加者 45 名

ウ 地域ケア会議構成員推薦

宮古市、花巻市、一関市、奥州市、釜石市、滝沢市、岩手町、矢巾町

エ その他栄養相談・栄養価計算 11 件

公３－（2）無料職業紹介事業

管理栄養士・栄養士を雇用したい企業等に対し職を求めている管理栄養士・栄養士を紹介するマッチング事業（会員以外も含む） 管理栄養士・栄養士の雇用支援

・ 病院、施設、市町村、団体等から求人 23 名

公４ 食を通じた心と体の健康教室事業

＜事業実施の目的＞

東日本大震災の被災者は、複雑な生活環境の下で食生活に対する意識の低下が危惧されている。さらに、住み慣れた地域から離れ、新たな人間関係やコミュニティづくりが求められている。これを受け、本事業では、被災者の方々を対象に、食を通じた心と体の健康づくり及び被災者の孤立を防ぐ地域コミュニティづくりを推進する。

被災者に向けた栄養・食生活コミュニティの推進 （感染症拡大防止のため中止）

その他の事業１ 共益事業

栄養・食生活支援にかかる派遣栄養士確保事業

被災者に対する栄養・食生活に関する支援事業（県より 要請無）

その他の事業２ 共益事業

（1）行政栄養士研修会 委託：岩手県

・ 第１回目 9 月 19 日（火） アイーナ・Zoom 行政栄養士参加者 73 名

「こども健康教育研修会」 内容は上記研修会事業に掲載

・ 第２回目 2 月 8 日（木） アイーナ・Zoom 参加者 53 名

講演 「保健事業の手段につながり、気がつけば効果の見える栄養活動」

グループワーク 「効果が見える栄養活動に向けて ～肥満対策事例から地域展開を考える～」

講師・GW 助言 岩手医科大学全学教育推進機構教養教育センター

人間科学科体育学分野 助教 佐々木 亮平 氏

GW 助言 岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子

（2）新人行政栄養士研修会 委託：岩手県

・ 第１回目 11 月 10 日（金） エスポワールいわて・Zoom 参加者 18 名

話題提供「保健事業の実際」

岩手県栄養士会理事・紫波町健康福祉課 主任栄養士 森川 利佳

講義「事業計画のための地域診断」

岩手県環境保健研究センター 主任専門研究員 並岡 亜希子 氏

グループワーク 「担当事業を振り返ろう①」

助言・総括 岩手県栄養士会 会長 澤口 眞規子

助言 岩手県栄養士会副会長・岩手県奥州保健所 上席栄養士 金谷 明美

岩手県栄養士会理事・岩手県釜石保健所 主任栄養士 菊池 絵美

岩手県栄養士会理事・紫波町生活部健康福祉課　主任栄養士　森川　利佳

・第２回目 12 月１日(金)　エスポワールいわて・Zoom　参加者 19 名

講義「行政栄養士に求められるスキル」

講師・GW 助言　岩手県栄養士会理事・元岩手県保健所管理栄養士　高橋　京子

グループワーク「担当事業を振り返ろう」

助言　岩手県保健福祉部健康国保課　主任主査　小野　償子 氏

法人運営に関する事業

(1) 総会　５月 28 日(日)　盛岡市　アイーナ会議室 804A

出席者 44 名　委任状出席 337 名　計 381 名

(2) 監査　４月 14 日(金)　岩手県栄養士会事務所　監事２名　副会長

(3) 理事会

第１回　４月 15 日(土)　アイーナホール控室 710・Zoom　出席者理事 16 名・監事２名

第２回　６月 10 日(土)　アイーナ会議室 801・Zoom　出席者理事 16 名・監事１名

第３回　９月９日(土)　アイーナ会議室 801・Zoom　出席者理事 16 名・監事２名

第４回　12 月 23 日(土)　県栄養士会事務所・Zoom　出席者理事 14 名・監事２名

第５回　３月 23 日(土)　アイーナ研修室 811・Zoom　出席者理事 17 名・監事２名

(4) 会員向け会報『栄養いわて 臨時特別号(通号 46 号)』７月発行 A4 判両面４ページ カラー印刷

管理栄養士・栄養士が厚生労働大臣の定める医療従事者として告示されたことについて

令和５年度会員数（令和６年3月末日現在）　（名）

	総数	盛岡	県南	沿岸	県北
総　数	743	358	216	107	62
医　療	271	146	76	36	13
学校健康教育	30	15	6	5	4
研究教育	27	27	0	0	0
公衆衛生	86	20	30	18	18
地域活動	94	47	32	12	3
福　祉	235	103	72	36	24

※地域活動には勤労者支援会員を含む